

(お知らせ)新型コロナウイルス感染防止に伴う国内競技会開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施変更・中止等の対応に迫られています。今後も第2次感染の発生状況、自治体毎の防止策に左右されることも想定されますが、現状における国内大会の主な変更を、以下の通り対応してまいりますのでお知らせいたします。

現時点での競技会及び開催部門の詳細は添付をご参照ください。今後の状況により変更する場合は適宜連盟 HP や SNS を通じて告知してまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1) 2020 年度国内競技会開催の基本方針について

- ・ ジャパンカップ地区大会/全国大会、ジュニアオリンピックカップ大会、ワールドカップ世界大会は引続き開催準備をすすめていく。万一、コロナの第2波等で開催できない場合は、代替大会を検討する。
- ・ 今後各都道府県連盟が計画する競技会/イベントについては、本部が作成するガイドライン(指針)を参考に実施してもらう。

(2) ジャパンカップ地区大会

- ・ シニア 1: シングル部門のみ実施する。
ユース 1, 2: シングル部門のみ実施し、JOC 予選も兼ねる。
- ・ ジュニア男女混合シングル部門(演技基本規定編・上級編)を実施する。
- ・ シニア 2, 3 の予選を実施する
- ・ 東日本/東北地区大会のみ会場の床の問題からエアロビックフロアを使用する。
- ・ ジュニアおよびシニア 2,3 選手は地区大会の該当エリアからのみ参加できる。

(3) ジャパンカップ全国大会

- ・ シニア 1: 全部門(ミックス・ペア、トリオ、グループ、エアロビック・ダンス部門は全国大会に直接エントリー)実施する。
ユース 1, 2: シングル部門のみ実施。トリオ部門は行わない。
- ・ エンジョイ・チーム部門は多世代で多くの人数が集まって練習するため実施しない。

(4) 登録クラブ選手権大会

- ・ シニア/ユースともにシングル部門のみ実施する。

(5) スポーツエアロビック大会

- ・ 実施大会数を減らし、1日大会とする。
- ・ ジュニア男女混合シングル部門(規定演技基本編・上級編)を実施する。
- ・ シニア 2, 3 のジャパンカップ予選を実施する。
- ・ 競技の特性から本年度フライト競技は従来形式を変更し、感染状況を見据えた上でジャパンカップ全国大会後の SA 大会から”2020 年度版フライト”を実施予定。6 月末を目処に実施概要を連盟 HP で告知する。全国大会への代表選考は実施しない。
- ・ SA 大阪および SA 神奈川のみエアロビックフロアを使用予定。

(6) 全国ユースフライト大会、全国フライト大会

- ・ 従来形式でなく”2020 年度版フライト”として実施する。

以上